

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年4月7日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691300018
法人名	社会福祉法人 百合砂
事業所名	グループホーム はまんだ
所在地	鹿児島県西之表市西之表6602-1番地 (電話) 0997-23-3992
自己評価作成日	平成26年1月30日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年3月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ゆったりとした環境の中で入居者の皆様が望んでおられる生活を支援しながら、それぞれの能力に応じて出来る事を探して頂き、喜びを感じて頂ける様、無理なくサポートしています。又、行事参加、ドライブ、外食、買い物等、開放的な生活を支援する事で、季節感や社会の一員としての喜びを感じて頂ける様な支援を心掛けています。踊りの会(さくら会)、近くの幼稚園、老人会等、地域の方々に訪問して頂き、交流を図りながら楽しく過ごして頂いています。最近では、デイサービスからの職員の異動により余暇活動も充実しており、体操やゲーム等を通して活性化を図っています。また、訪問看護ステーションとの医療連携体制をとり、週に1度、訪問して頂いて入居者の方々の健康チェックに努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・理念は職員全員で考え、壁に掲示し、事業所のサービスのあり方と基本的な方針を大切に、職員はケアの振り返りの原点としている。
- ・地域との係わりも活発に行なわれ、運動会や幼稚園との交流、老人会のメンバーが訪問して話し相手などを行っている。近所を散歩しながら挨拶や世間話をしたり冗談を言ったり身近な存在となっており、利用者の孤立感の予防になっている。
- ・「身体拘束をしない」ことを、研修や勉強会を開き、認識を高め徹底して取り組んでいる。玄間の鍵は日中かけないで利用者や関係者は自由な生活を支援している。
- ・災害対策においては、年2回、消防署の指導のもとに地域の関係者も一緒に訓練が行なわれている。
- ・医療面で週1回の訪問看護で健康管理を行い、主治医との連携をとり、24時間医療連携体制が整っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所独自の理念を作りホーム内の目につく所に掲示しています。理念を共有し、理念に基づいた支援が提供できる様取り組んでいます。	地域密着型サービスの役割を踏まえた独自の理念を全職員で考え、壁に掲示し、常にケアの基本として共有し実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	できるだけ地域行事に参加し交流ができるよう取り組んでいます。地域運動会に参加しました。近くの幼稚園や地区の老人会との交流も定期的に行ないました。家で採れた野菜等も、持って来て下さいます。	2つの町内会と交流し、地域の運動会や幼稚園との交流、老人会の訪問などがある。近隣を散歩し馴染みの友人等から野菜の差し入れもある。防災無線を通じて、行事案内や地域の情報を得ている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の老人会や校区の方々の見学の受け入れ、介護支援ボランティアの受け入れを実施しました。入居者の皆様と交流して頂き、認知症についてもお話しています。同地区の老人会も定期的に訪問して下さいます。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回運営推進会議を実施し、入居者の状況の変化、生活の状況、活動報告等を行い、それに対して意見を出して頂き、サービスの質の向上に努めています。	会議は定期的に行っている。事業所の行事報告や現状報告・入居者の状況・外部評価の結果報告等を行い、参加者から入浴時の対応についての提案等が出され、運営に反映している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市の職員に運営推進委員として参加して頂き、連携を図りました。入退所状況を明確に報告する等、連携に努めました。ホームで発生した事故で受診した時は、土・日曜日でもファックスで報告しています。	日頃から行政に出向き、書類などの提出時に事業所の報告や直面した問題の相談をして、アドバイスを得ている。運営推進会議に参加してもらい、情報をもたう等、連携を密に取っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束防止委員会で、各部署より提供される事例をホームに持ち帰り、ミーティングの後、全員で検討し、具体的な行為について確認、実践しています。	「身体拘束をしない」を意識して徹底した実践を行なっている。母体法人での身体拘束防止委員会に参加している。ホームでは研修や勉強会を開催し、身体拘束防止について認識を深めている。昼間は玄関の施錠をせずに、職員の見守りで自由に出入りができるようにしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人内の事故・身体拘束防止委員会にて情報交換を行い、事例についても話し合い、防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修会及びそれに関する資料により制度について、認識はしています。現在対象者は居られません。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に時間をかけ丁寧に説明し、内容を理解し納得して頂くようにしています。また、疑問があったらいつでも尋ねて下さる様お伝えしております。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>日頃から何でも話せる関係の構築に努めています。また、スタッフに話せない事は御家族に話せる様、面会時は配慮しています。また、日頃から面会時や家族会等の交流会で気軽に相談して頂ける様話しています。月に1回発行される広報誌には、それぞれの担当者が様子等、メッセージを書いて送っています。</p>	<p>利用者には日常の会話の中から情報収集している。家族には毎月広報誌を送り、事業所での利用者の活動や状況報告をして、思いを聞いている。家族会の開催や電話連絡時に、意見を聞き、遠方の家族の来訪時に宿泊できるようにする等、運営に反映している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月に1回のミーティングやサービス向上委員会、他各種委員会等で、また日常的にも気軽に意見、提案が出来る様配慮し、反映しています。気がついた事は、連絡帳にて全員が把握出来る様にしています。</p>	<p>管理者は職場の雰囲気作りを大事にし、職員が意見や提案を気軽に言えるように声かける等、配慮している。連絡帳等を有効に活用し、本人の思いや設備面の改善にも反映し、勤務時間についても配慮されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>2ヶ月に1回、自己評価を実施させ、改善した点、反省点等自己を見つめ直す機会を作り、上司に提出している。その上で4ヶ月に1回上司評価を行なっている。正社員昇格や賞与等に反映され、やりがいに繋がっていると思われる。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修会等は全員が参加できるよう配慮し、勉強会も母体施設共同で定期的実施しています。又、新人や他部署からの異動時には同じ勤務帯で勤務指導しています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同系列の施設やグループホームとの交流を通して情報交換をし、相互にサービスが向上する様に取り組んでいます。GH百合砂と合同で外食にも出掛け交流を図りました。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人様からの聞き取りには困難な面があります。御家族を通して聞き取りをすることが多いです。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学時、申し込み時、入居時と段階に応じてお聴きする機会を作り、受け止め解決に向けて共に努力しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	個々の状態に応じて時間をかけ、居宅支援事業所等との連携も図りつつ、支援を見極め他のサービス利用も視野に入れて対応しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る事、出来ない事を見極め、ゆったりとした環境の中で、過剰なサービスを避け、入居者のペースで出来る事はやって頂き、いつも同じ目線で対応する事で支えあう関係を築ける様心掛けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>電話、面会時等に情報の共有を図り、コミュニケーションを充実する事で、信頼関係を作り、協力して頂き、支えあう関係作りに努めています。家族と共に支える事がとても重要であると認識しております。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>面会の受け入れや、自宅訪問、買い物、地域の行事への参加、ドライブ、外食等へ出掛ける事で馴染みの人や場所との関係が維持出来る様に支援しています。御家族が帰省された折、地域の祭りに一緒に出掛けられました</p>	<p>個別に馴染みの関係が継続できるように工夫している。地域との繋がりが途切れないように支援している。知人の面会がある。自宅のみかんを収穫に行ったり、野菜を家族が持ってきたり、外食や買い物に出かけて友人と出会いがあったり、楽しみの持てる機会を多く作っている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>時々、考えや思いの違いから口論になる事もありますが、お互いの意見を尊重しながら、お互いを思いやれる様な雰囲気作り、環境作りに努めています。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>死亡による契約終了がありました。死亡時には、スタッフ全員で弔問に出掛けています。又、御家族と街等でお逢いした時は、気軽に声を掛け合っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人、御家族からの聞き取りをしっかりと行い、アセスメントを充実する事で思いや意向を把握し、利用者本位のケアプランに反映していく様に努めています。	利用者との聞き取りの時間を設けたり、日常の中でリラックスしている時に思いを聞いている。会話が困難な利用者には、家族や知人・友人からの情報も取り入れ、今までの既往歴などを職員で話し合い、その人らしい支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の本人様、ご家族からの聞き取り、居宅支援事業所等関係機関からの情報収集により、把握するよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	アセスメントの充実、日々の観察、日々のケア記録、モニタリングを実施してミーティングで確認し合い総合的に把握できるようにしています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族、本人、関係者の意見をお聞きし、反映して作っています。又、サービス担当者会議にて、病院からの情報、訪問看護師からのアドバイス、介護スタッフの意見を聞き反映して作成しています。	本人や家族の意見や意向を大切に、医療面や介護に関する現場の気づきを把握して、介護計画を作成している。3ヶ月ごとにモニタリングを行い、課題分析をして、「その人らしい」プランを作っている。状況の変化に応じて、その都度、計画を見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の生活や変化が把握出来る様に個別に記録をとり、職員間で共有できるようにしています。実践、介護計画の見直しにも反映しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	外出、外泊、ご家族宿泊、受診、買い物、墓参り等状況に応じて多機能性を生かし、柔軟に対応しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議委員、民生委員、教育関係者、行政、消防署、商店街などの協力を頂きながら支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	多くの方が、入所前より協力医療機関をかかりつけ医とされています。本人及びご家族の希望を大切にしています。	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。協力医療機関からの定期健診や訪問看護も週1回取り入れている。主治医との医療連携ができている。専門医は、職員が受診の支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	協力病院の看護師や訪問看護師に相談、指示を頂きながら健康管理に努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された時は、スタッフが交代で面会に伺い、入院生活に不安を持たれないよう配慮しています。早期退院については病院関係者、訪問看護師との連絡を密にして情報交換を行い対応しています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に終末期の意向は伺っております。又、早い段階から本人、御家族、主治医、他関係機関それぞれのお話を伺い、全員で方針を共有し、対応しています。看取り指針マニュアルを作成し周知に努めています。	重度化や終末期の指針マニュアルがあり、契約時に説明している。重度化とともに段階的に家族の意向を確認し、医療や関係者と細かい連携をとり、職員全員と家族も共有している。看取りにチームで取り組んでいく体制ができており、看取りの事例もある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	法人と協力して救急救命士の方による応急処置初期対応の勉強会を年2回実施しています。全員が出席出来る様配慮しています。又、マニュアルを備え周知を図っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回、訓練を実施し、非常時の避難に対応出来る様になっています。又、運営推進会議の委員の皆様を通して協力をお願いしています。台風等の非常事態が想定される場合には、保存可能な食品を準備したり、非常時の持ち出し備品についても話し合っています。	消防署の指導のもと年2回の避難訓練を実施し、避難経路の確認や緊急時の連絡体制も強化されている。同地域内に職員も居住しており協力体制ができています。災害時に備えスプリンクラーや緊急連絡装置・消火器等の設置がある。災害時の食料等の備蓄がある。地域からの訓練への参加もあり協力体制ができています。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	それぞれの生活歴を尊重し、言葉掛けや対応に配慮しながら、誇りやプライバシーを損なう事がないように心掛けています。	サービス向上委員会を毎月実施し、言葉かけやトイレ誘導・入浴時のケアなど、誇りやプライバシーに配慮して、日々のケアを行っている。個別に部屋で話をしたい利用者には、配慮した支援を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	その人にあった言葉掛けで意向を伺い、自己決定出来る様に配慮し、サポートしています。自己決定が困難な場合は、御家族の意見もお聞きしながら対応しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者中心である事をいつも念頭におき、それぞれの思いを大切に、健康状態を考慮しながら支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	服装は自分で選べる方には選んで頂き、支援が必要な方には助言したり一緒に選んだりしています。理美容については美容師に定期的にホームに来て頂いたり親戚のかたにカットして貰う方もいます。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	それぞれの能力に応じて野菜の下ごしらえや片付け等をして頂いています。ゆっくりと食事の時間をとり会話を楽しんでいます。	献立は利用者の好みを聞き、職員全員で考え、食べたい食事を選んでもらっている。朝食はパンを用意したりコーヒーや牛乳も好みに合わせて対応している。つわの皮むきなどを一緒にしている。外食や手作り弁当を持ってでかける等、食事を楽しむ支援をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量、水分摂取量等チェックし把握しています。バランスについては献立表を参考にし、野菜を多くして偏りのない様に献立に工夫しています。時々、管理栄養士に助言を頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時、毎食後、自分で出来る方には声掛けし、見守りにて口腔ケアをして頂いています。出来ない方には、状態に応じて口腔内の清潔保持に努めています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表にてひとりひとりの排泄パターンを把握し、声掛けや誘導でトイレでの排泄が出来る様になっています。便秘気味の方には、水分補給（起床時）等や食材の工夫に努めています。	排泄パターンの把握で時間を見てさりげなく声かけしたり、しぐさからトイレ誘導を行って、おむつ使用を減らす取り組みを行っている。日中は綿パンツの使用で対応できている。乳製品を使用したり、食事面でも支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	影響については、研修会等で理解し、運動、水分、食事等での改善を工夫しています。野菜を多く使い、牛乳やヨーグルト等乳製品を多くしたり、せんな茶を勧めたりして調整しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	バイタルチェックで、健康状態を確認し、入浴の意向を伺いながら支援しています。気分が向かない方には、日にちや時間をずらしたり、声掛けする職員を替える等工夫しています。保湿と入浴を楽しんでいただく為に入浴剤を使用しています。	週2回の入浴を基本にしているが、利用者の希望や状況に合わせて、いつでも入浴できるようにしている。毎回、風呂湯の入れ替えや掃除を行い、衛生面に気を付け清潔である。入浴をいやがる利用者には、テレビを見て気分をよくして、入浴する時もある。脱衣所は、温度調整がされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している	個々の生活習慣を大切に、意 向を伺いながら自由に自室で休 養して頂いたり、ホールのソ ファーで寛いで頂いています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や 副作用、用法や用量について理解して おり、服薬の支援と症状の変化の 確認に努めている	処方箋ファイルを作り、スタッ プがいつでも見れるようにして います。処方箋に変更があった 場合は連絡帳にて周知を図っ ています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活暦や力を活かした役割、 嗜好品、楽しみごと、気分 転換等の支援をしている	入所時の調査で趣味、生活歴、 職歴等を把握し日頃のサポ ートに生かしています。例 えば、歌がお好きな方には 歌う機会を、役職につか れていた方には慰問時に 挨拶をお願いしています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる ように支援に努めている。ま た、普段は行けないような 場所でも、本人の希望を 把握し、家族や地域の人 々と協力しながら出かける ように支援している。	健康状態を観ながら、買 い物同行、散歩、ドライブ に出掛けられる様支援 しています。ドライブは 行きたい所を聞いたり、 お弁当持参で出掛けたり しています。御家族と外 食に出掛ける方もおられ ます。	体調や天候の良いときは、 事業所の周辺を散歩したり、 庭に出たりしている。地 域内外のイベント見物や 花見・買い物などの外出 もしている。車でのドラ イブで自宅周辺に行ったり、 公園などに行っている。 家族とは病院受診や墓参 り・親戚と合ったり・外 食したりしている。母体 の特別養護老人ホームの 車いす対応車両で出かける こともある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>常時、持っている事は難しい面がありますので、買い物の日を行事として計画し、個々にお財布を持って頂き、買い物を楽しんで頂いています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話は、相手の都合の良い時間帯を伺った上で希望ある時は、いつでも、出来る様に支援しています。手紙については、書ける方には書いて頂き投函出来る様支援しています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ソファの数を増やし、一人ひとりがゆっくり寛げる様工夫しています。また、季節感を味わえる様、季節の花を飾ったり、音や光等にも心配りしています。</p>	<p>共用の空間は、和風の木造りで温かみがあり、落ち着いた雰囲気である。日光が自然と入るような設計で、室内灯もまぶしくなく適切な光である。床暖房設備で快適な環境で過ごすことができる。玄関には季節の花が飾られ、壁の配色、温度・湿度の調整がされ、ソファが多数置かれ、好きな場所でゆっくりとくつろげる工夫がしてある。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>あちこちに寛げる空間があり自由に寛いで頂いております。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅で使用していたベットやお布団、家具等持って来て頂き、居心地良く過ごして頂けるよう工夫しています。</p>	<p>利用者や家族と話し合い、自宅で使っていたテレビや仏具・カレンダー・時計等を持ち込み、思い出の写真も壁に貼ってある。使い慣れた小道具など、好きなように置かれ、自宅の思い出をそのまま継続できるように配慮されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ホール、トイレ、浴室等手摺りを取り付け、出来るだけ自立支援のサポートが出来る様整備しています。名札の設置や部屋入口の様子はそれぞれ各部屋独自になっています。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない